

平成28年度 中山間地域総合整備事業 再評価調書

事業名	中山間地域総合整備事業	地区・路線名	みのせいぶ 三野西部地区
事業主体	徳島県	関係市町村	三好市
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は、三好市の北東部に位置する吉野川北岸の中山間農業地帯で急峻な地形を呈しており、農地のほとんどが不整形で小規模である。また生産基盤及び生活環境基盤に係る整備が遅れており、過疎化や高齢化、担い手不足等の課題を抱えている。</p> <p>このため老朽化した農業用排水施設の整備や農道の新設、畑地のほ場整備により営農労力の節減等効率化を図り、生産性の向上を目指す。更に農業集落道等の生活環境基盤の整備を総合的に実施することにより地域の活性化や農業振興を図る。</p>		
	<p>(事業内容)</p> <p>受益面積 152.9ha                  受益戸数 606戸                  主要工事 農業用排水路 8,066m、農道 1,633m、ほ場整備 12.2ha、                  農地防災(ため池) 1箇所、農業集落道2,490m、交流施設基盤(遊歩道)1箇所                  総事業費 1,545,000千円(国55%、県30%、市10~15%、地元農家5~0%)                  工期 平成19年度~平成33年度</p>		
事業評価	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>平成27年度までに農業用排水路3,931m、農道880m、ほ場整備2.6ha、                  農地防災(ため池) 1箇所、農業集落道1,048m、交流施設基盤(遊歩道)1箇所を実施している。                  平成28年度末の事業費進捗率は61%となっている。</p>		
	<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>特になし。</p>		
	<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>本地域では、農業従事者の高齢化と後継者不足、及び農産物価格の低迷や資材費などの高騰により、営農状況は年々厳しくなっている。このため農業用排水路や農道、ほ場整備等の農業生産基盤整備、農業集落道等の農村生活環境整備により、営農労力節減や生活環境改善を図ることが重要になっている。</p>		
事業評価	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>特になし。</p>		
	<p>(事業効果の発現状況)</p> <p>本事業の実施に伴い農業用排水路、農道、農地防災、農業集落道、交流施設基盤などの農業生産基盤整備及び農村生活環境整備を実施することにより営農労力や走行経費等の節減、生活利便性の向上などの効果がみられ、安定した農業経営、生活環境改善が可能となる。</p> <p>投資効率＝総事業効果額／総事業費＝1.44</p>		
事業目録	<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>地元受益者や三好市から事業の早期完成を要望されている。</p>		
	<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>		